

	<p>東京都 台東区</p>	<p>【データ】 令和6年4月1日現在 人口：213,486人 面積：10.11km² 区の木：さくら 区の花：あさがお 特産物：皮革製品、伝統工芸品 主な祭：三社祭、隅田川花火大会 浅草サンバカーニバル 担当：健康部健康課 電話 03-5246-1178</p>
<p>台東区長 服部 征夫</p>		
	<p>区章</p>	

● 台東区の特徴

台東区は、歴史や伝統、文化などに育まれた多彩なまちとして、時代の変化に対応しながら発展してきました。

平成28年に世界遺産に登録された国立西洋美術館をはじめ、美術館や博物館が多く存在する「上野」、芸能と庶民文化の一大中心地として栄え、日本を代表する観光拠点である「浅草」、昔ながらの町並みが残る「谷中」など、江戸の粋と人情、歴史と文化が息づく個性ある地域が本区をかたちづくり、国際文化観光都市として、一年中にぎわいにあふれています。

さらに、令和7年のNHK大河ドラマが、台東区を主な舞台とした「べらぼう ～蔦重栄華乃夢噺～」に決定し、主人公の蔦屋重三郎が生まれ育ちその才能を開花させたゆかりの地として、区の歴史や文化に更なる注目が集まっています。



雷門（浅草）

● 花の心プロジェクト

すべての区民が花を慈しむ心、思いやりとおもてなしの心を持って、花でまちを飾り、心豊かであるおいのあるまちにする、それが「花の心プロジェクト」です。

この取り組みを通じて、おもてなしのまち台東区を世界に向けてアピールしていきます。



区の花『あさがお』

● 健康都市としてのあゆみ

平成5年10月1日に制定された「台東区健康都市宣言」は、「自らの健康は一人ひとりの自覚と健康的な生活習慣の実践」を基本に、区と区民が一体となって健康施策

を推進することを高く謳いあげ、その後の「健康日本21」などの基本的な考え方を先取りし、先駆的に実現しようとするものでした。

平成19年12月1日には、旧健康都市宣言の考え方を継承しつつ、台東区らしい健康づくり施策をさらに展開するため、新たに「たいとう健康都市宣言」を行いました。

健康づくりには個人と家族と地域が共に支えあう社会が不可欠という考えを広く区民に呼びかけ、区民と地域社会と区が一体となって健康施策を推進しています。



台東区健康都市宣言ロゴマーク



台東区
ウォーキングマップ

● 健康たいとう21推進計画（第二次後期計画）

健康たいとう21推進計画とは、区民による主体的な健康づくりと、それを支える保健施策や保健医療体制を一体的・実効的に推進するための計画です。

「区民の誰もが、地域で互いに支え合い、安心して、いきいきと健やかに暮らせるまち」を計画の基本理念としています。

平成30年度からの第二次後期計画は、前計画からの3つの基本理念と4つの基本目標に加え「自殺予防の推進（自殺予防推進計画）」と「食育の推進（食育推進計画）」の2つを新たな基本目標として掲げました。計画期間は、平成30年度から令和6年度までの7ヵ年となっており、現在、次期計画の策定を進めています。



計画の全体像